

スポーツ報知 SPORTS HOCHI

ゴールデンスピリット賞 GOLDEN SPIRIT AWARD

夢もチャイでも 正尚基金

開発途上国子どもへ1本塁打10万円 総額1000万円超

プロ野球人の社会貢献活動を表彰する報知新聞社制定「第23回ゴールデンスピリット賞」を受賞したオリックス・吉田正尚外野手(29)が2日、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで行われた表彰式に出席した。2019年から公式戦でのホームラン1本につき10万円を、今年からは開発途上国に苦しむ子どもたちへ寄贈。今後はポストリーグシステムによる米大リーグ挑戦を目指しており、海の内こうでも「ホームラン基金」を継続することを誓った。

表彰式
開発途上国で貧困に苦しむ子どもたちへ寄贈。今後はポストリーグシステムによる米大リーグ挑戦を目指しており、海の内こうでも「ホームラン基金」を継続することを誓った。

クレメンテ賞も目標
食い入るように画面を見つめた。吉田正尚が思いを受け止めた。「映像を見て(胸に)来るもの、感じるものがある。19年から公式戦1本塁打につき10万円と、ファンからの募金を合わせて寄

カンボジアやフィリピン、パングラテシウの手をもちに「メッセージ動画」を実現した。

基金のベースとなるのはホームラン。「打たなかったらヤバイですよ。ね。違う寄付を考へます。……これももちろん冗談だ。海の内こうでも美しい瞬間から量産し、変わらざるファンとともに歩んでいくのが理想。ゴールデンスピリット賞のハンドブックに載っているのがロベルト・クレメンテ賞で、活動と実績の2つがないと取れない。一番の賞だと聞いています。いずれは……と受賞も大目標とした。

コロナ禍が落ち着けば支援する国々を訪れ、文化や子どもたちとふれ合うことを本気で思っている。「来シーズン、これからの野球人生も、もっととっとと高みを目指して頑張っていきたいと思っています。継続は力、有言実行。グラウンド内外の使命を双肩に乗せる。長



◆ゴールデンスピリット賞 日本のプロ野球球団に所属する人の中から、積極的に社会貢献活動を行っている人を表彰する。毎年1回選考委員会(委員名別掲)を開いて、球団推薦で選ばれた候補者から1人を選定する。社会貢献活動の表彰は米大リーグのVP。受賞者にはゴールデントロフィー(東京芸術大学名誉教授・絹谷幸二氏作製のプロ最高級の賞として大リーガーの憧れの的になったスズメ)と阿部雄一賞(100万円)が贈られる。日本では球場外の功績を評価する表れる。また受賞者が指定する団体、施設などに、球団推薦で選ばれた候補者から1人を選定する。社会貢献活動の表彰は米大リーグのVP。受賞者にはゴールデントロフィー(東京芸術大学名誉教授・絹谷幸二氏作製のプロ最高級の賞として大リーガーの憧れの的になったスズメ)と阿部雄一賞(100万円)が贈られる。日本では球場外の功績を評価する表れる。また受賞者が指定する団体、施設などに、球団推薦で選ばれた候補者から1人を選定する。

東京五輪日本代表

◆吉田 正尚(よしだ・まさたか)1993年7月15日、福井県生まれ。29歳。敦賀

気比高から青学大を経て、15年ドラフト1位でオリックス入団。20、21年に首位打者、今季は2年連続2度目の最高出塁率。ベストナイン5度。19年プレ

現地子どもから映像メッセージ
〇：認定NPO法人「国境なき子どもたち」の会長を務める寺田朗子氏が壇上で祝辞を述べた。「吉田選手のおかげで何人の子も、毎

目を過ぎていくのか。大きな温かい愛情を注いでいた。だいたい。本音をおいであらう。ありがとうございます。寄付先のカンボジアなどの現地の子どもたちから、ビデオメッセージも届いた。また、オリックス・楽天野球団社長は「謝辞とともに、メジャーで



本紙評論家の宮本和知氏から質問を受ける吉田正

宮本さんと軽妙トークショー WBCはまだわからない
吉田正尚は表彰式後にスポーツ報知評論家・宮本和知氏とのトークショーに臨んだ。初対面ながら、チャリティ活動に至った経緯や今季を振り返るなど、軽妙なやりとりを展開。4月10日のロッテ戦(ZOZOマリン)で佐々木朗に完全試合を喫した話題に「僕は3打席立ちました。でも、どうも新しいチャレンジャーもいる。いろいろな決まってるから」と言葉を選んだ。今後の自身のスケジューリングも不透明だけに、慎重な姿勢を示した。

◆阿部雄一賞 本賞を第1回から協賛している株式会社アイ・インベストメントの代表取締役社長、阿部雄一氏が2001年4月9日に逝去したことを受け、報知新聞社が「阿部雄一賞」を創設した。

ゴールデンスピリット賞の表彰式に出席したオリックスの吉田正(カメラ・池内 雅彦)

写真に納まる(左から)佐山和夫氏、斎藤孝NPBコミッション、吉田正尚、依田裕彦報知新聞社代表取締役社長

選考委員
大塚 義治 日本赤十字社名誉社長
斎藤 孝 プロ野球コミッショナー
佐山 和夫 ノンフィクション作家。米大リーグに造詣が深い。ゴールデンスピリット賞の提唱者の一人。2021年野球殿堂入り。
長嶋 茂雄 読売巨人軍終身名誉監督。現役時代のチャリティー活動が評価され、1982年に日本のプロ野球人として初めてロバート・クレメンテ賞に選出された。1988年パチカン市国からパチカン有功十字勲章を受章。
二屋 裕子 日本バスケットボール協会会長。パレートの五輪銅メダル。
依田 裕彦 報知新聞社代表取締役社長(敬称略・50音順)

祝辞披露
長嶋茂雄巨人軍終身名誉監督は欠席のため祝辞が披露された。

もロベルト・クレメンテ賞を目指して頑張ってもらいたい」とエール。欠席した選考委員の長嶋茂雄・読売巨人軍終身名誉監督のお祝いの言葉も代読された。

わたしたちはゴールデンスピリット賞を 応援しています

株式会社 アイ・インベストメント
Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社
保険情報サービス株式会社 Insurance Information Service
株式会社 岡田製作所
Tōyō GROUP 株式会社トーヨーホールディングス